



# 昭和大学歯学部だより

2024年11・12月号

通算第231号

## 北京大学口腔医学院と学部間交流協定の調印式が行われました

＜歯科理工学講座 柴田 陽＞

令和6年10月30日、昭和大学歯学部(旗の台キャンパス)にて、北京大学口腔医学院と学部間交流協定の調印式が執り行われました。式典では、両大学の教育や研究の取り組みが紹介され、昭和大学の馬場一美歯学部長と北京大学の Dr. Deng Xuliang 学部長が協定書に署名しました。本協定は、学生や教育職員の相互交流を促進する重要な基盤として期待されています。

調印式に先立ち、前日から当日にかけて、両大学の教育理念や研究活動に関する活発な意見交換が行われています。当初、北京大学一行の滞在時間は限られていましたが、協力関係の重要性を認識した双方の調整により、2日間にわたる訪問が実現しました。これらの議論を経て、調印式は両大学の協力の方向性を具体化する貴重な機会となりました。

両大学の未来志向の協力関係をさらに深める上で、この調印式は重要な節目といえるでしょう。



## 学生懇談会が開催されました

＜教育委員長 船津 敬弘＞

秋期の学生懇談会が11月11日に開催されました。学生側からは2年生～5年生のクラス委員が出席し、教員側は馬場歯学部長、野中学生部長、弘中D6チューター会議長、松田教授と私が参加いたしました。講義に関しては、スライドのレイアウトに関することや、資料のアップロードに関して改善が要望され、定期試験等の成績開示については、ポータルサイトでの公開が要望されました。5年生からは臨床実習中の水分補給に関する時間確保の意見がありました。6年生は卒業試験直前のため、当日の参加はありませんでしたが、歯科病院における放課後の勉強場所の確保のため、臨床講堂の使用予定が知りたいという意見がありました。馬場歯学部長からは、クラス委員に対し授業や実習がより良いものとなるように、これからも意見を出してほしいとのお話しがございました。今後も学生と教員が一丸となって検討を行い、学生生活の継続的な改善を図ってまいりたいと思います。

- P.1 【北京大学口腔医学院との学部間交流協定調印式】歯学理工学講座 柴田 陽教授  
【学生懇談会開催】教育委員長 船津 敬弘教授
- P.2 【イルミネーション点灯式】学生部長 野中 直子教授  
【入試実施報告】入試常任委員 美島 健二教授  
【行事予定】広報委員長 柴田 陽教授
- P.3 【学生会開催】学生会運営委員会(学術部) 松田 幸子教授  
【アメリカ骨代謝学会で Young Investigator Award 受賞】大学院4年 澁坂 和大先生  
【歯科基礎医学会ベストペーパー賞受賞】小児成育歯科学講座 山口 真帆助教
- P.4 【地域連携歯科医療実習Ⅰ実施】富士吉田教育部 前田 昌子准教授  
【受賞】広報委員長 柴田 陽教授

## イルミネーション点灯式が行われました

<学生部長 野中 直子>

11月22日17時より、旗の台キャンパス中庭においてイルミネーション点灯式が行われました。カウントダウンに合わせ3名の学生により点灯スイッチが押されると、中庭は一瞬にして色とりどりの宝石をちりばめた景色にかわり、歓声が上がりました。当日は多くの学生、教職員が集い、MASや応援指導部の出演により、寒い中ではありましたが演奏や演舞のエネルギーで会場は熱く盛り上がりました。近年、季節感が薄れつつありますが、冬のイルミネーションは多くの場所で開催されています。皆様、お帰りの際、またお仕事や研究、勉強の合間に旗の台キャンパスのイルミネーションをご覧ください、リフレッシュし、疲れを癒してください。この旗の台のイルミネーションは、4月からの昭和医科大学への校名変更、そして100周年に向け、さらに輝くことでしょう。



## 総合型選抜入試・学校推薦型選抜入試・卒業生推薦入試・編入学試験が実施されました

<入試常任委員 美島 健二>

本年度の総合型選抜入試の志願者は59名であり、昨年度より22名増と志願者数の増加がみられました。まず、書類審査が実施され、その合格者である47名が10月6日(日)に旗の台キャンパスにて実施された選抜試験を受験しました。選抜試験では、模擬授業とその理解度の確認、面接が実施され、9名(男子3名、女子6名)の合格者が発表されました。



学校推薦型選抜入試、卒業生推薦入試、編入学試験は、11月17日(日)に旗の台キャンパスにて実施されました。学校推薦型選抜入試の受験者数は卒業生推薦入試を含めて67名(男子30名、女子37名)と昨年度より26名増と飛躍的に増加し、選考の結果36名(男子16名、女子20名)の合格者が発表されました。

編入学試験では、19名が受験し昨年度よりも6名の受験者の増加を認めております。選考の結果、9名(男子4名、女子5名)の合格者が発表されました。

今後の入試日程は、令和7年2月6日(木)に一般選抜入試Ⅰ期と大学入学共通テスト利用入試の面接試験、3月2日(日)に一般選抜入試Ⅱ期が実施されます。教育職員の皆様には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 行事予定

<広報委員長 柴田 陽>

2月 1日(土)・2日(日) 第118回歯科医師国家試験

2月 6日(木) 歯学部一般選抜入試(Ⅰ期)・大学入学共通テスト利用入試

2月22日(土) 大学院春季Ⅱ期入試(医・歯・薬学研究科)

## 学士会が開催されました

＜学士会運営委員会(学術部) 松田 幸子＞

令和6年11月30日(土)に、第71回昭和大学学士会総会が対面およびハイブリッド形式で開催されました。歯学部は19題の演題発表がありました。活発な質疑応答があり、病態の解明や臨床応用への可能性を思い描くことができました。

昭和大学学術奨励賞には歯学部から2名、宮野二美加先生(歯科矯正学講座)、磨田友里子先生(スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門)が受賞されました。表彰後は教育講演 1)心臓血管外科領域における低侵襲治療の導入 昭和大学大学院医学研究科心臓血管外科学分野 教授 青木淳 2)臨床薬剤師育成システムの確立に向けて 昭和大学大学院薬学研究科病院薬剤学分野 教授 田中克己 3)初年次における要支援学生の早期把握に向けて 昭和大学富士吉田教育部 教授 小倉 浩 が行われました。カテーテルを使った心臓血管治療に対する思い、薬学部学生に対する先生方の取り組み、早期に支援学生を抽出するための興味深い分析結果について知ることができました。(写真:奨励賞の授賞式)



## アメリカ骨代謝学会で Young Investigator Award を受賞しました

＜歯科矯正学分野 大学院4年 澁坂 和夫＞

ASBMR 2024(アメリカ骨代謝学会, カナダ・トロント:9月27日-30日)において、演題名「Subcellular spatial transcriptomics and single-cell RNA sequencing analysis reveal the role of the posterior synovium in the temporomandibular joint」が高く評価され、Young Investigator Award を受賞しました。本年度はその他にも、日本顎関節学会では大会長賞、日本矯正歯科学会では優秀演題賞を頂きました。本研究を御指導いただいている先生方に心より御礼申し上げます。これらの受賞を励みとし、より一層、顎関節研究の発展に努めて参ります。(写真: ASBMR President の Dr. Laura Calvi さんと ASBMR Award Reception にて)



## 歯科基礎医学会ベストペーパー賞を受賞しました

＜小児成育歯科学講座 山口 真帆＞

この度論文賞を頂き、長崎大学医学部にて授賞式に参加致しました。ご指導頂いた高見教授、坂井教授、船津教授、歯科薬理の皆様、薬理科学研究センターの皆様には深く感謝申し上げます。大学院時代モリタ賞を受賞し、その内容を学位論文にしたものでした。数々の素晴らしい論文の中一位に選んで頂いたそうなのですが、未だに自分のことなのかと不思議な感覚です。先生たちのお言葉や自分の信念、研究への姿勢を振り返り、感慨深いです。現在、日本医療研究開発機構に出向し、研究を別の視点から見ておりますが、自分の力が日本の研究力の一端に少しでもなることができたら良いなと日々思っております。まだまだ未熟ではございますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



# 地域連携歯科医療実習 | (初年次体験実習) が実施 されました

<富士吉田教育部 前田 昌子>

10月8日～28日まで初年次体験実習が行われました。本実習は学部連携実習と学部毎の実習をローテーションで実施します。学部連携実習では福祉施設や病院見学、救急法実習、不自由体験が行われました。歯学部実習は3日間行われ、事前学修、歯科病院見学、見学内容の発表会が実施されました。実習に先立ち、オリエンテーション時に小原希生同窓会長にお越しいただき、同窓会から白衣が授与されました。



富士吉田校舎での事前学修は歯科ユニットを使用しての相互実習を行いました。歯科病院見学では初めに馬場学部長に歯科病院や見学についてミニレクチャーをしていただき、午前1診療科、午後2診療科を見学しました。午前中は白衣を着て患者さんの前に立つ緊張感と先生方に声をかけるタイミングがわからず固まっていた学生たちも、午後には少しずつ質問ができるようになっていました。見学中は5年生や臨床研修医に助けられながら、近い将来像が見えたようで、あんな先輩になれるよう勉強を頑張りたいとモチベーションが上がっていました。最後に、本実習に関係いただきました皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

## Award(受賞)

<広報委員長 柴田 陽>

第72回JADR(国際歯科研究学会日本部会)学術大会 GC学術奨励賞  
三木 優(歯内治療学部門 助教)

令和6年度日本歯科理工学会関東地方会 研究奨励賞  
小嶋 禎子(インプラント歯科学分野 大学院4年)  
辻上 陽平(歯内治療学分野 大学院3年)

Poster Prize at the 12th International mRNA Health Conference  
周 君(歯科理工学講座 助教)

## 編集後記

<口腔生理学講座 中山 希世美>

今年もあっという間に年の瀬となってしまいました。急に寒さが厳しくなり、感染症も流行っているようです。お体には十分気をつけてよいお年をお迎えください。新しい年が皆様にとって幸多き一年となりますようにお祈り申し上げます。末筆ではございますが、お忙しい中ご寄稿くださいました先生方に心より感謝申し上げます。

昭和大学 歯学部だより 通算231号 2024年12月発行  
発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽  
11・12月号編集委員：中山 希世美(広報委員会)  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000  
ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp